

関係各位

横浜市柔道協会
会長 英 道 生

初～五段の昇段書類推薦について

標記制度で昇段を希望する方は次の事項をご確認ください。推薦書は問合せを受けてから配付します。

【年齢・修業年限の条件】

- 年齢は年末現在、満30歳以上。
- 初段：1年半以上、二段：3年以上、三段：4年以上、四段：5年以上、五段：6年以上
(初段以外は現段位昇段後の修行年限)

【書類提出方法】

- 7・8月の横浜市柔道協会審査会で受け付ける。
※必ず事前（6月まで）に文末の問合せ先に連絡し書類推薦に該当するかを確認する。
- 初段より三段までは、所属の責任者が一括して提出する。
- 四段以上については、本人が直接提出する。
- 原本と写しの3部を提出する。
- 初段は講道館入門願書も添付する。用紙は審査会場で配付する。

【推薦書の記入要領】

- (ア) 推薦書のエクセルファイルに記入し印刷するか、推薦書を印刷して黒ボールペンで記入する。
- (イ) 推薦書下部にある注意事項に則して記入する。
- (ウ) 二段以上の者は「講道館館員番号」「全日本柔道連盟メンバーID」「現段位昇段年月日」「現段位の推薦団体名（都道府県柔道連盟）」「入門年月日」を正しく記入する。
※「全日本柔道連盟メンバーID」は各自の全柔連会員登録証で確認する。
※「全日本柔道連盟メンバーID」以外で必要事項が不明の場合は
講道館審議部（TEL 03-3811-7153）に照会する
- (エ) 「昇段後満年か月」「推薦団体名」「推薦理由」「形」欄は記入しない。
- (オ) 「柔道修行経歴」は柔道を始めたときから時系列に年月・修行場所、指導者名（現段位）を記入する。
例) ○○○○年○月○○中学校入学、○○□段に師事
○○○○年○月○○柔道クラブ入会、○○□段に師事
- (カ) 「現在の修行状況」は現在の修行場所、修行状況（活動頻度）を記入する。
例) ○○道場に於いて○○□段に師事し、週○日修行中
○○柔道教室に於いて週○日、○○□段の下、小中学生の指導に当たりながら修行中
- (キ) 「柔道の普及発展に尽くした功績」は柔道関係の役職履歴や指導実績があれば時系列に役職名や活動状況等を記入する。
- (ク) 「その他特記事項」は柔道活動による受賞、公認審判員資格、公認指導者資格等があれば、内容と取得年月日を記入する。

【その他】

- 形講習会に出席しない場合は、原則として推薦の対象とはならない。
- 四段・五段の形は横浜地区で予備講習を行い、県柔連で講習審査を受ける。
- 手続費用や形講習会受講料等については問合せを受けてから説明する。
- 本状が直ちに横浜市柔道協会の推薦を意味するものではない。
- 本年度の書類受付
7月10日（日）・8月7日（日）午後1時～3時 県立武道館柔道場
- 問合せ先

横浜市柔道協会 会長 英 道 生
〒231-0053 横浜市中区初音町3-46
TEL・FAX 045-241-9847

関係各位

横浜市柔道協会
会長 英 道 生

六段及び七・八段の昇段推薦について

標記の昇段を希望する方は下記を確認してください。
事前に横浜市柔道協会にて推薦書の審査を受けてから神奈川県柔道連盟に提出することになります。
推薦書は問合せを受けてから配付します。

【修業年限等の条件】

	六段	七段	八段
総合評定	修行年限	修行年限	修行年限
優	7年以上	9年以上	12年以上
良	9年以上	12年以上	15年以上
可	12年以上	15年以上	18年以上

- 六段は試合成績と修行年限で評定される。
- 七・八段は総合成績及び修行年限で評定される。
- 各段の評定の対象となる大会と必要な試合成績（得点）及び七・八段の総合成績の各項目の評定基準は問合せを受けてから説明する。

【神奈川県柔道連盟への書類提出方法】

- 指定された期日に神奈川県柔道連盟に提出する。
- 原本と写しの3部を提出する。

【六段推薦書の記入要領】

- (ケ) 推薦書のエクセルファイルに記入し印刷するか、推薦書を印刷して黒ボールペンで記入する。
- (コ) 「講道館館員番号」「全日本柔道連盟メンバーID」「現段位昇段年月日」「現段位の推薦団体名（都道府県柔道連盟）」「入門年月日」を正確に記入する。
※「全日本柔道連盟メンバーID」は各自の全柔連会員登録証で確認する。
※「全日本柔道連盟メンバーID」以外で必要事項が不明の場合は講道館審議部（TEL 03-3811-7153）に照会する
- (サ) 「推薦団体名」「推薦理由」「形」欄は記入しない。
- (シ) 「試合成績」は年月日、大会名、相手の段位・氏名、勝敗を正確に記入する。
(勝敗は 勝ち○ 引き分け× 負け△ で記入)
- (ス) 「柔道修行経歴」は柔道を始めたときから時系列に年月・修行場所、指導者名（現段位）を記入する。
例) ○○○○年○月○○中学校入学、○○□段に師事
○○○○年○月○○柔道クラブ入会、○○□段に師事
- (セ) 「現在の修行状況」は現在の修行場所、修行状況（活動頻度）を記入する。
例) ○○道場に於いて○○□段に師事し、週○日修行中
○○柔道教室に於いて週○日、○○□段の下、小中学生の指導に当たりながら修行中
- (ソ) 「柔道の普及発展に尽くした功績」は柔道関係の役職履歴や指導実績があれば時系列に役職名や活動状況等を記入する。
- (タ) 「その他特記事項」は柔道活動による受賞、公認審判員資格、公認指導者資格等があれば、内容と取得年月日を記入する。

【七・八段推薦書の記入要領】

- (ア) 推薦書のエクセルファイルに記入し印刷するか、推薦書を印刷して黒ボールペンで記入する。
- (イ) 「講道館館員番号」「全日本柔道連盟メンバーID」「現段位昇段年月日」「現段位取扱団名（都道府県柔道連盟）」「入門年月日」を正確に記入する。

- ※「全日本柔道連盟メンバーID」は各自の全柔連会員登録証で確認する。
- ※「全日本柔道連盟メンバーID」以外で必要事項が不明の場合は
講道館審議部（TEL 03-3811-7153）に照会する
- (ウ) 「推薦理由」は記入しない。
- (エ) 「試合成績」は年月日、大会名、相手の段位・氏名、勝敗を正確に記入する。
(勝敗は 勝ち○ 引き分け× 負け△ で記入)
- (オ) 「形」は形競技大会出場実績や評定される形の講道館夏期講習会での証を取得している場合は記入する。
- (カ) 「審判」はライセンスを取得している場合は該当に○をつけ取得年を記入し、審判を務めたおもな大会を記入する。
- (キ) 「指導実績」は大会に出場した選手や団体の育成実績又は道場クラブ等での指導実績を記入する。
- (ク) 「現在の修行状況及び柔道の普及発展に尽くした功績」は現在の修行状況を記入する。
例) ○○道場に於いて、週○日、小中学生の指導に当たりながら修行中
○○○・○○○に於いて、週○日、形及び乱取りの修行中
柔道関係の役職履歴や柔道の普及発展にどのように寄与したかを記入する。
- (ケ) 「その他の特記事項」は前各項に含まれない事項、例えば柔道活動による受賞、公認審判員資格、公認指導者資格等があれば、内容と取得年月日を記入する。

【その他】

- 手続費用等については問合せを受けてから説明する。
- 本年度の書類提出までの日程
 - (1) 各段とも4月17日（日）までに横浜市柔道協会に昇段希望を申し出て、修行年限・試合成績や総合成績の各項目が推薦に該当するかを確認し、推薦書を受け取る。
 - (2) 5月5日（祝）市審査会（シンコースポーツ神奈川県立武道館）で横浜市柔道協会へ本人記載部分を記入した推薦書を提出し審査を受ける。
 - (3) 次の期日に県審査会で神奈川県柔道連盟へ推薦書を提出する。
 - 六段 6月25日（土）（横浜武道館）
 - 七段 7月17日（日）（シンコースポーツ神奈川県立武道館）
 - 八段 6月25日（土）（横浜武道館）
 ※事前（前月の県審査会）に県柔連審議部に推薦書の校閲を請け、必要があれば手直しをしてから提出する。
- 本年度の形審査の日程（予定）
 - 県柔連で予備審査を受けた後に、六・七段は関東柔道連合会、八段は講道館の形試験を受ける。
 - 六段（講道館護身術）
 - 7月17日（日） 県柔連審査（シンコースポーツ神奈川県立武道館）
 - 9月24日（土） 関東柔道連合会審査（埼玉県）
 - 七段（五の形）
 - 8月13日（土） 県柔連審査（横浜武道館）
 - 10月22日（土） 関東柔道連合会審査（埼玉県）
 - 八段（古式の形）
 - 8月13日（土） 県柔連審査（横浜武道館）
 - 10月16日（日） 講道館試験（講道館）

【問合せ先】

横浜市柔道協会 会長 英 道生
〒231-0053 横浜市中区初音町3-46
TEL・FAX 045-241-9847